

# 授業研究会のまとめ

## 1 学年授業「じどう車くらべ」

### 1 児童の様子、変容など

- ・タブレットで、はしご車の動画を無音にしたことで、集中して見ることができた。
- ・はしご車の画像は、タブレットを使って見せることで個々が詳しく見たい「しくみ」を拡大でき、児童が意欲的に使用できていた。
- ・それぞれが「しくみ」を見つけた後、理由をしっかりと言いながら共有ができていた。
- ・「確かに。」というつぶやきがところどころで聞こえたように、全体共有をすることで自分の気づかない「しくみ」を知ることができていた。
- ・終末のふりかえりでは、各自スムーズに記入ができていた。

### 2 児童の様子、変容などから考えられる指導の効果および改善を要する点

- ・放水という言葉を知らない児童もいたので、放水の動画があれば見せてもよかった。
- ・話型の提示があったが文章作りに結びつかなかったため、自分の言葉で書けたことはよかったが、今まで学習した文を読み返すと書きやすかったと考えられる。
- ・文章のお手本がなく文章化が難しそうな児童も見られたので、今までの学習した教科書の文を読み返すとよかったのではないかな。

### 3 指導助言者による指導助言

- ・学級経営をはじめ、児童への言葉がけがよかった。
- ・児童がペアを組んでの共有が上手であり、全体での共有も効果的であった。
- ・新学習指導要領では、知識・技能の領域での情報取り扱い、新しい取り組みとして大事なポイントである。
- ・本時のタブレットで挿絵を拡大したり、共有できたりしたことは、児童にとって理解が深まる手立てとなった。しかし、「つくり」についての情報が多すぎて混乱をする姿も見られた。「しごと」から「つくり」を書く際にハードルが上がったのだろう。本時は、自分で書くはじめての活動であることから、「しごと」を書く際には、ひとつにしぼってもよかった。
- ・振り返りを記入するプリントをこの単元を通して使っているなので、それを生かして学習計画を提示できるとより見通しをもった学習になる。

# 授業研究会のまとめ

## 4 学年授業「プラタナスの木」

### 1 児童の様子、変容など

- ・児童がとても意欲的・主体的で、自分から学ぼうとしていた。
- ・ミライシードのオクリンクの操作に慣れていた。
- ・「この時間に何をするのか」と尋ねて、児童は見通しをもって本時のめあてである「魅力」と答えていた。
- ・初めて友達の意見がタブレットに配信されて、友達の意見（物語の魅力）を見て、うれしそうだった。

### 2 児童の様子、変容などから考えられる指導の効果および改善を要する点

- ・オクリンクを使って、事前に考えさせていた魅力を内容によって色分けした中から一つ選び、それを使って何をするのか的確に伝えることで、児童が本時で何をするかをつかませることができた。
- ・毎時間オクリンクを使って書かせるという今までの積み重ねがあったので、タブレットの操作に慣れていたり、本時に対する児童の気持ちが高まったりしていた。
- ・最後にもう一度物語の魅力を書くときに、タブレットをしまっていて友達の意見を見ることができなかったため、最後までタブレットを出しておいて友達の意見を見て参考にできるようにするとよかったのではないかな。
- ・自分の考えと他者の考えの違いを考え、認め合えるようになった。

### 3 指導助言者による指導助言

- ・単元の8時間の読み取りの中で魅力を考えるのは短いと思っていたが、これまでのめあてを明確に示してくり返し学習したことで児童に学習内容が定着し、魅力という抽象的な内容を考えることができていた。
- ・一人一人が意見を持って授業に参加するという配慮されていて、児童の意欲につながっていた。
- ・他の友達の意見を参考にしながら書くと文章が長くなってしまったり、教科書の描写や叙述に即して書くとあらすじ的になってしまったりするが、それはそれでいいのではないかな。
- ・最後の振り返りの中で自分の意見は変わらないまでも、友達の意見を参考にしながら自分の意見に肉付けしていた。本時の成果が表れていた。

# 授業研究会のまとめ

## 5 学年授業「たずねびと」

### 1 児童の様子、変容など

- ・集中していた。ほぼ全員の児童がしっかり発表できていた。質問したり相手と対話をしたりするなど、意欲的に交流できていた。
- ・相手の意見により、自分の意見がやや変わるなど深まっている姿が見られた。
- ・児童が自らファシリテートする姿が見られ、学びあい全体で共有され深まっている様子が見られた。

### 2 児童の様子、変容などから考えられる指導の効果および改善を要する点

- ・自分の意見をはっきり伝えるため、また相手の意見をよりとらえやすくするために、「マイ黒板」の活用が有効であった。
- ・共有の場面を、4人グループ→自由と発展させたことで、より積極的に伝え合うことができた。さらに全体共有をしたことで、気づかなかったことに気づき、深めることができた。

### 3 指導助言者による指導助言

- ・児童が活動できる時間を十分にとっており、大変良かった。
- ・机間指導中の教師の問い返しが有効であった。
- ・個→全体→個→全体の流れの中で、根拠を問うことで、同意見でも根拠が違うことに気づき、描写を根拠にしていることを再確認し、自分の考えを再構成することができていた。
- ・最後の振り返りで、交流に対する振り返りだけでなく、作品理解の深まりが書けるような言葉かけをするとさらによい。